

【申請準備中】
統括設計 専攻建築士

登録番号 (申請準備中)
専攻領域 統括設計 (予定)
専門分野 —



川原 昌彦
Kawahara Masahiko

一級建築士 311085 号
e-mail : kawahara@net-ic.co.jp

経 歴

- 1971年 登別市生まれ
- 1992年 北海道中央工学院
専門学校建築工学科
建築コース 卒業
- 1992年 札幌市内設計事務所
入社
- 2004年 一級建築士免許取得
- 2011年 岩倉建設株式会社 入社
建築部設計課 配属

建築士事務所登録

岩倉建設株式会社一級建築士事務所
一級建築士事務所 (石) 2069 号
開設者 宮崎 英樹
管理建築士 今泉 数則
〒060-0061
札幌市中央区南 1 条西 7 丁目 16 番 2
TEL/FAX 281-7736 / 281-6127
http://www.iwakura-kensetsu.jp

社会福祉法人 朔風 つくし交流多目的施設

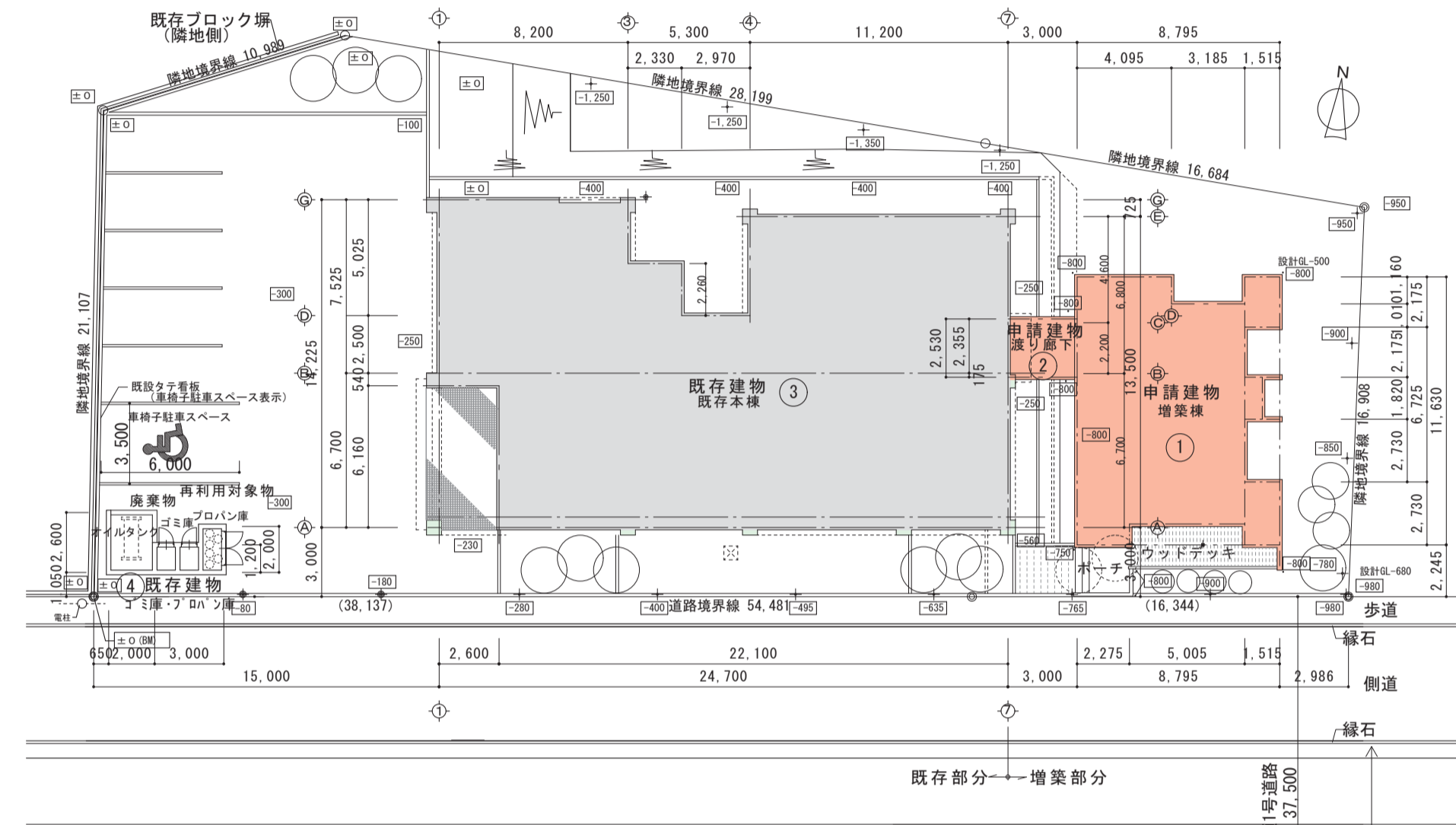
本施設は、知的障がい者生活介護事業所である既存建物に、渡り廊下を介して増築された施設である。使われ方として、利用者の日中活動のスペースとして利用されることや、広々としたスペースが必要とされる体操や運動、リトミックなどを行なえるよう計画が求められた。また、地域住民の方々が交流を図る憩いの場として開放し、北海道産木材の魅力やぬくもり



特 徴

構造形式は木造在来軸組工法で、道産トドマツの製材・集成材を構成部材として用いている。建築物の形状は、北側へ傾斜する片流れ屋根とし、高部である南側部分を 2 階建の構成、低部の北側部分を吹抜とし、上下階が空間的に一体となる断面構成とした。内装の壁のほぼ全面と天井の一部を道産カラマツの羽目板で仕上げ、空間の垂直方向の連続性を表現した。また、この断面構成によって、自然光を十分に取り込み、明るい内部空間となっている。外装は道南スギを一部に用いて、主たる外装材である金属製サイディングの無機質感との対比により、「木のぬくもり」をより効果的に表現する外観とした。

を実際に見て・触れて・感じることができる心地よい空間を提供することも目的とされた。建設費の一部に森林整備加速化・林業再生事業 (木造公共施設等) の補助金を利用する計画であるためということもあり、地域材である北海道産木材を内外装に多く使用している。



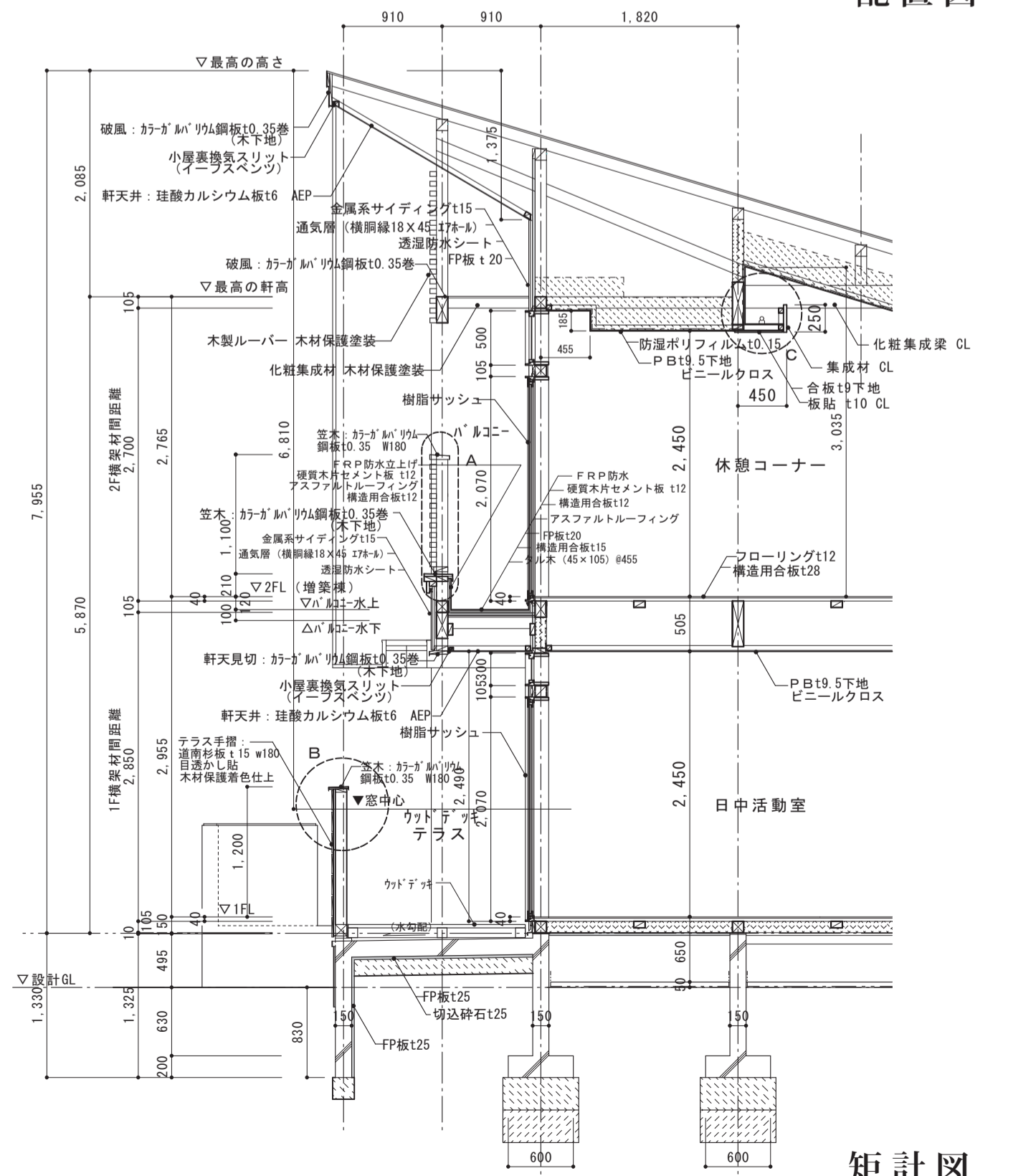
配置図



2階 休憩コーナー



1階 日中活動室



矩計図

建物概要

所在地 札幌市中央区
建物用途 児童福祉施設等
(知的障がい者福祉施設 (生活介護))
構造規模 木造 2 階建 (渡り廊下: 鉄骨造平屋建)
延床面積 増築部分: 134.47 m² (40.68 坪)
竣 工 平成 26 年